

# 広島市の生物

## 補遺版

広島市

平成18年10月

種子植物  
絶滅・絶滅



マツムシソウ  
(植物公園提供)

種子植物  
広島市の絶滅のおそれのあるもの・絶滅危惧



ウエマツソウ  
(植物公園提供)

種子植物  
広島市の絶滅の  
おそれのあるもの  
・絶滅危惧



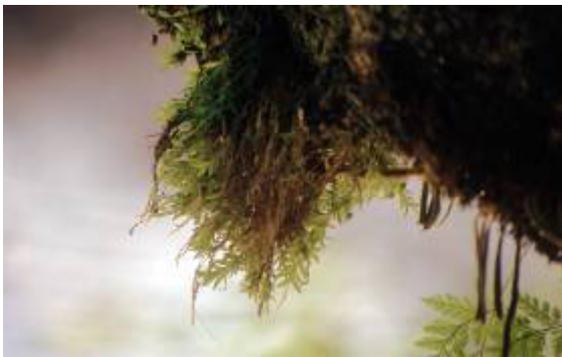
ヒメフタバラン  
(植物公園提供)

種子植物  
広島市の絶滅の  
おそれのあるもの  
・絶滅危惧



ヒメノヤガラ  
(植物公園提供)

種子植物  
広島市の絶滅のおそれのあるもの・絶滅危惧



ヨウラクラン  
(植物公園提供)

種子植物  
広島市の絶滅の  
おそれのあるもの  
・絶滅危惧



キンセイラン  
(植物公園提供)

種子植物  
広島市の絶滅のおそれのあるもの  
・絶滅危惧



サルメンエビネ  
(植物公園提供)

種子植物  
広島市の絶滅のおそれのあるもの・絶滅危惧



マツラン  
(植物公園提供)

種子植物  
広島市の絶滅のおそれのあるもの・絶滅危惧



トウゴクサバノオ  
(植物公園提供)

種子植物  
広島市の絶滅のおそれのあるもの・絶滅危惧



クマガイソウ  
(植物公園提供)

種子植物  
広島市の絶滅のおそれのあるもの・絶滅危惧



ムギラン  
(植物公園提供)

種子植物  
広島市の絶滅のおそれのあるもの・絶滅危惧



オキナグサ  
(植物公園提供)

種子植物  
広島市の絶滅のおそれのあるもの・絶滅危惧



ホンシャクナゲ  
(植物公園提供)

種子植物  
広島市の絶滅の  
おそれのあるもの  
・絶滅危惧



キエビネ  
(植物公園提供)

種子植物  
広島市の絶滅の  
おそれのあるもの  
・準絶滅危惧



オオヤマサギソウ  
(植物公園提供)

種子植物  
広島市の絶滅の  
おそれのあるもの  
・準絶滅危惧



ムヨウラン  
(植物公園提供)

種子植物  
広島市の絶滅のおそれのあるもの・準絶滅危惧



コハクウンボク  
(植物公園提供)

種子植物  
広島市の絶滅のおそれのあるもの・準絶滅危惧



ジャコウソウ  
(植物公園提供)

種子植物  
広島市の絶滅の  
おそれのあるもの  
・準絶滅危惧



マネキグサ  
(植物公園提供)

種子植物  
広島市の絶滅のおそれのあるもの・準絶滅危惧



キヨスミウツボ  
(植物公園提供)

種子植物  
広島市の絶滅のおそれのあるもの・準絶滅危惧



シロバナイナモリソウ  
(植物公園提供)

種子植物  
広島市の絶滅のおそれのあるもの・準絶滅危惧



キンラン  
(植物公園提供)

種子植物  
広島市の絶滅の  
おそれのあるもの  
・準絶滅危惧



ノハナショウブ  
(植物公園提供)

種子植物  
広島市の絶滅のおそれのあるもの・軽度懸念



サンベサワアザミ  
(植物公園提供)

種子植物  
環境指標種



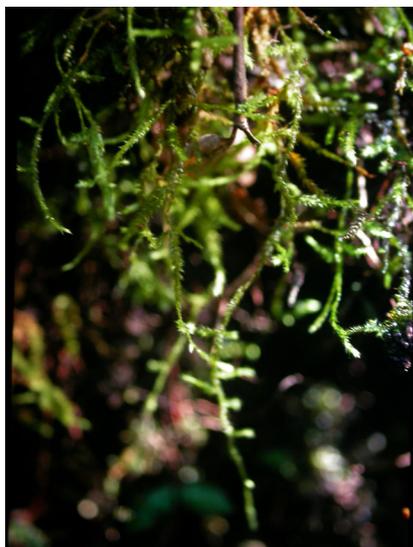
コウヤマキ  
(植物公園提供)

シダ植物  
広島市の絶滅のおそれのあるもの・準絶滅危惧



クラガリシダ

コケ植物  
広島市の絶滅のおそれのあるもの  
・絶滅危惧



ヒロハシノブイト  
ゴケ  
(関太郎撮影)

群落  
広島市の絶滅のおそれのあるもの  
・準絶滅危惧



クロソヨゴーツガ群  
集コウヤマキ亜群  
集  
(関太郎撮影)

巨樹



栗屋郷の  
トチの木  
(関太郎撮影)

巨樹



恵下谷のモミ

昆虫類  
広島市の絶滅の  
おそれのあるもの  
・絶滅危惧



コオイムシ  
(昆虫館提供)

昆虫類  
広島市の絶滅の  
おそれのあるもの  
・絶滅危惧



マルチビ  
ゲンゴロウ  
(昆虫館提供)

昆虫類  
広島市の絶滅の  
おそれのあるもの  
・絶滅危惧



コマルケシ  
ゲンゴロウ  
(昆虫館提供)

昆虫類  
広島市の絶滅の  
おそれのあるもの  
・準絶滅危惧



ナベプタムシ  
(昆虫館提供)

昆虫類  
広島市の絶滅の  
おそれのあるもの  
・軽度懸念



サワダマメ  
ゲンゴロウ  
(昆虫館提供)

## はじめに

今、数種の色素を混ぜた色素液Aがあり、同様に数種の色素からなる液Bをこれに混ぜたところ、色調が大して変化しなければ、色素液AとBはよく似た組成であるといえよう。ところが、色素液Aに色素液Cを混ぜたところ、色調が著しく変化した場合、液CはA・Bとはかなり異なる色素の組成を持っていると判断できる。これは情報理論による多様性指数を使って類似度を測定する手法である。

平成17年（2005年）4月に、広島市と合併した湯来町（以下、旧湯来町という。）の生物相は、まさに色素液Cにあたる。合併前の広島市の中・東・南・西・安佐南・安佐北・安芸・佐伯区の8区の生物相は、多少の相違はあるものの互いによく似ている。これら8区に旧湯来町分が加わることで、広島市の生物多様性は一気に高まることとなった。

これによって広島市は、政令指定都市の中でも、きわめて多様な生物相をもつ都市となった。これは広島市民の貴重な財産である。前回の「広島市の生物—まもりたい<sup>いのち</sup>生命の営み—」（2000年）の「はじめに」で、私は「その目指すところを端的に表現すれば、それは『生命の尊厳』である」と書いた。今年には原爆投下61年目を迎えるにあたり、「生命の尊厳」という言葉はますます重みを増して来た。「生命の尊厳」という立場から見れば、この地球上の生物はすべて貴重な存在であり、それにランク付けをすることは許されないはずである。しかしながら、ヒトという生物が生存を続ける上で、他の生物を犠牲にせざるを得ない。個体としての生存のための食物に始まって、集団としてヒトが社会生活を営む上で、どうしても他の生物の存在をおびやかすことになる。この場合に、生物種のランク付けを行わざるを得なくなる。

旧湯来町には、広島市のごみ最終処分場候補地となっている区域がある。これは旧湯来町において、議論が重ねられた懸案であったが、合併により広島市に引き継がれることになった。まだ、その詳細は未定であるが、建設された場合、貴重な生物の存在がおびやかされることは必定であろう。この報告書の有効な活用が望まれるところである。残念ながら、十分な予算と時間がなかったために、各専門分野の委員をそろえることができず、また現地調査が不十分なまま取りまとめなければならなかった。旧湯来町の自然環境は、まことに多様であり、まだまだどんな生物が見つかるかも知れない。広島市民のみなさんが、一人でも多く「湯来の里」に関心を持って頂き、「こんな面白いものが見つかったよ」と新しい情報を寄せて頂くことを期待したい。

平成18年（2006年）10月

広島市の生物 補遺版検討委員会  
委員長 関 太 郎

# 目次

グラビア

はじめに

## 第1章 総論

- 1 調査の目的 .....1
- 2 調査の方法 .....2
  - (1) 調査体制 .....2
  - (2) 調査対象 .....3
  - (3) 調査方法 .....4
- 3 絶滅のおそれのある種と環境指標種 .....6
  - (1) 選定基準 .....6
  - (2) 選定種 .....7

## 第2章 各論

- 1 調査地域の概要 ..... 19
- 2 湯来地区の調査結果 ..... 22
  - (1) 種子植物 ..... 23
  - (2) シダ植物 ..... 50
  - (3) コケ植物 ..... 54
  - (4) 地衣類 ..... 62
  - (5) 藻類 ..... 65
  - (6) 菌類 ..... 66
  - (7) 群落 ..... 68
  - (8) 巨樹 ..... 71
  - (9) 哺乳類 ..... 73
  - (10) 鳥類 ..... 77
  - (11) 爬虫類 ..... 82
  - (12) 両生類 ..... 83
  - (13) 淡水魚類 ..... 85
  - (14) 昆虫類・クモ類 ..... 89
  - (15) 甲殻類・貝類 ..... 91
- 3 選定種の変更 ..... 93
  - (1) 種子植物 ..... 93
  - (2) 哺乳類 ..... 96
  - (3) 鳥類 ..... 97
  - (4) 爬虫類 ..... 99

(5) 両生類 .....	102
(6) 淡水魚類 .....	103
(7) 昆虫類 .....	105
付 録	
1 選定基準 .....	109
(1) カテゴリ区分の考え方 .....	109
(2) カテゴリ .....	110
(3) 選定候補種のラベル振り分けの作業フロー .....	112
2 選定種一覧表（分類順） .....	113
3 巨樹一覧表 .....	121
索 引 .....	125